

令和5年度 特例の教育課程の実施状況報告

1. 学校・市町村概要

名護市立稲田小学校

- ・教育目標: ○進んで学習し、よく考える子(かしこく)
○仲良く はげまし合う子(やさしく)
○健康で たくましい子(たくましく)
○地域を愛する子(ちいきあい)

・所在地 ● 沖縄県名護市我部祖河440-1

・児童数

学年	小学校								中学校					小中計
	1	2	3	4	5	6	特別支援学級	計	7	8	9	特別支援学級	計	
児童生徒	19	22	12	19	16	17	2	107						
学級数	1	1	1	1	1	1	1	7						

○名護市概要【人口】63,309人【学校数】小学校11校、中学校6校、小中一貫校2校

2. 教育課程特例の取り組み・概要

ねらい

- 歌や遊びなどの活動を通して、英語特有の発音やリズムに慣れる。
- 間違いをおそれず、英語発音をまねし、進んで発話する。

3・取組の工夫:教科等の系統性・連続性を踏まえた学習指導【系統図や指導計画の作成

第1学年と第2学年に『外国語活動』を置く。

下記の通り、複数の教科から数時間程度を外国語活動の時間に充てる。

第1学年(10時間)・・・生活(6時間)、音楽(2時間)、体育(2時間)

第2学年((18時間)・・・生活(6時間)、音楽(4時間)、図画工作(4時間)、体育(4時間)

4. これまでの成果と課題、今後の取り組み

成果と課題

○低学年の頃から歌や遊びなどを通して英語に触れているため、英語特有の発音やリズムに慣れ親しんでいる。また、中学年からの外国語活動に抵抗なく入れる。

○低学年で培った素地を生かして、中学年や高学年で、より発展的な学習ができる。

△ALTと学級担任の連携が十分ではない。

今後の取り組み

・ALTと学級担任がさらに連携を深め、より系統性・連続性を意識した指導の充実に努める。